

企業分析研究室（地域文化創造系：観光文化・観光まちづくり領域）			
担当者	梶原 太一		
受け入れ人数	6名程度	論文・レポートに使用する言語	日本語
<p>研究可能な領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成／職業選択／技能・資格・免許の獲得／職業能力の発達に関すること ・企業研究、業界研究に関すること ・観光ビジネス（旅行業、宿泊業、土産品業、交通業、観光施設、観光協会）に関すること ・NPO（特定非営利活動法人、社団法人、財団法人、任意団体など）に関すること ・寄附、ボランティア、社会貢献活動、ファンドレイジングに関すること ・税金（所得税、消費税、財産税など）に関すること ・資産運用（株式、債券、投資信託、金利、為替、不動産など）に関すること ・企業文化、企業倫理、企業不祥事、企業の社会的責任（CSR）に関すること <p>「企業」(business、enterprise)という言葉からは、営利目的で活動する「会社」(company)の存在が思い浮かぶかもしれませんが、しかしながら、本研究室の対象は、会社のみならず、「組織」(organization…共通の目的を持つ2人以上の人間の集まり)と呼ばれるもの全般に及びます。たとえば、病院や福祉施設・学校・宗教団体・各種協会・協同組合などの非営利組織、クラブやサークルといった任意団体、町内会・自治会といった地縁団体など、さまざまな姿で存在している「組織」が分析の対象となりえます。</p> <p>「分析」(analysis)とは、“細かくみる”という意味の言葉です。したがって、研究を進めていくと対象や範囲がどんどん絞り込まれていき、針の穴を除き込むような気持ちになっていくかもしれません。なるべく視野を狭めず、絶えず全体を見渡して相対化ができるように、研究室の他のメンバーが行なっている研究内容に関心を向けることを強く推奨します。</p>			
<p>卒業研究のテーマ例（過年度の卒業研究より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県内で活動する企業／店舗／工場／NPO／各種団体の実態調査 ・道の駅／商店街／競馬場／卸売市場／港などの公共施設の運営方法や地域における役割 ・観光ビジネスとしてのアニメ聖地巡礼／負の遺産／神社仏閣／集客イベントの研究 ・インターネットショッピング業界／ICT業界／化粧品業界／アニメ・映画業界の研究 ・音楽／芸術ビジネスの研究(特定のアーティストやグループの魅力、成功の理由)…など 			
<p>方法</p> <p>ゼミでは、「組織」に関する問題を論じた基本書を全員で輪読するとともに、各自の関心に沿って、卒業研究のテーマを設定し、個人報告を進めていきます。</p> <p>卒業研究の研究方法は、さしあたり、社会科学分野（商学・経営学・経済学など）の基本的な手法を用いますが、①文献研究、②公表された情報の収集と分析（統計的検証含む）、③組織への訪問調査（事例研究）、④あるべき姿を探る規範研究、・・・といったいくつかの研究方法のうち、いずれかを、各自のテーマに照らして、選択することになるでしょう。</p>			
<p>備考</p> <p>主義・主張は問いません。</p>			